普及現地情報

発信年月日：令和6年(2024年)12 月 3 日
所　属　名：高島農産普及課
番　　号：H24020
発 信 者 名：中川

まくわうり栽培後の反省会を開催しました

令和6年11月5日に高島管内のまくわうり生産者に対して、今年度の生産物の傾向と次年度の対策について説明することを目的に栽培後の反省会を JA レーク滋賀と共同で開催しました。

まくわうりは高島の特産品として栽培され、「今津特産金太郎まくわ」として、市場出荷されています。令和6年度は新たに2名の生産者が増えて、17名の生産者が約1ha の規模で市場出荷に取り組まれています。

令和6年11月5日（火）に管内のまくわうりの生産者を対象に栽培後の反省会を開催し、生産者8名、JA レーク滋賀担当者4名、当課担当者1名の計13名が出席しました。当課からは今年の生産物の傾向と次年度に向けた対策について説明しました。

今年度は、6月～7月中旬頃までは雨が短期間に多く降ったため、炭疽病、うどんこ病の発生が多発しましたが、早期発見と防除に努められた結果、病気の蔓延を未然に防ぐことが出来ました。一方で収穫初期の果実において水浸果や割れ果が発生しました。

そこで、当課からは炭疽病、うどんこ病の発生を未然に防ぐために防除暦の修正を提案するとともに、排水性を高めるほ場管理の手法を説明しました。生産者からは「研修会は今年度の栽培を改めて振り返ることが出来る良い機会になっているのでありがたい」といった意見をいただきました。また、次年度の収量品質向上に向けて活発な意見交換がされました。

今後も関係機関と連携し、高品質なまくわうりが継続して生産、出荷されるよう支援します。